



「教材教具紹介」

令和3年度の校内研究『主体的な姿を大切にした授業づくり～教材教具の工夫～』の「実践のまとめ」からの引用です。

支援、指導等の参考にさせていただけたらと思います。ご質問等ありましたら、本校コーディネーターまでお問合せください。

【教材名】

おみせのひとになろう

【どんな場面】

- ・ 算数
- ・ 正しく数を数えたり数と数字を合わせたりする活動

【対象】

- ・ 小学部 知的

【材料】

- ・ お菓子のシール、カード
- ・ 棚のプリント

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 1～3、4～6の数字を楽しみながら親しむことができるように、『コンビニエンスストア』という設定にしている。

【成果と課題】

○棚に○印があるものから始め、慣れてきたら○印なしの棚に中央の数字のみを手がかりにして正しい品数のお菓子を並べられるようになった。4～6に取り組む児童もいる。

●棚の白い部分に色を塗りたくなってしまう。棚を1つにして集中して取り組むと良い。

【教材名】

しゅっぱつしんこう！

【どんな場面】

- ・ 自立活動
- ・ 手先の巧緻性を高める活動

【対象】

- ・ 小学部 知的

【材料】

- ・ フェルト
- ・ ファスナー
- ・ ボタン
- ・ マジックテープ

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 児童の好きなテーマを用いて制作することで、楽しみながら指先を使った活動に取り組めるようにしている。

【成果と課題】

○例) T：たいへん！バラバラになって動かない！

S：大丈夫だよ、任せて！ブッブー、ビューン！

T：あ～良かった

会話を楽しみながら手先も動かすことができるようになった。

●ファスナーは、横より縦の操作が現実的である。

【教材名】

5つのメロンパン

【どんな場面】

- ・ 自立活動（コミュニケーション）
- ・ 自分の思いを伝えたり、選択したりする場面

【対象】

- ・ 小学部 重複

【材料】

- ・ ビニール袋
- ・ シュレッターゴミ
- ・ イラスト

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 発語、発話のない児童でも思いを伝えたり選択したりできるように、スーパートーカーとイラストを用いた。
- ・ 楽しく取り組めるように歌『パン屋に5つのメロンパン』を用いて、「ちょうだい」「ありがとう」を言えるようにした。
- ・ 児童が扱いやすく教師が作りやすいパンを、シュレッダーのゴミなどを用いて作成した。

【成果と課題】

- 児童が歌に合わせて楽しく取り組む姿が見られた。
- 児童の実態に応じて、「ちょうだい」を、言葉、身振り、手振り、スーパートーカーで表す姿が見られた。
- 児童によっては、パンの違いが分からず、選択が難しいことがあった。

【教材名】

みんなでチャレンジ！～できるかな？～

【どんな場面】

- ・ 自立活動
- ・ 話を聴く、見ることの練習

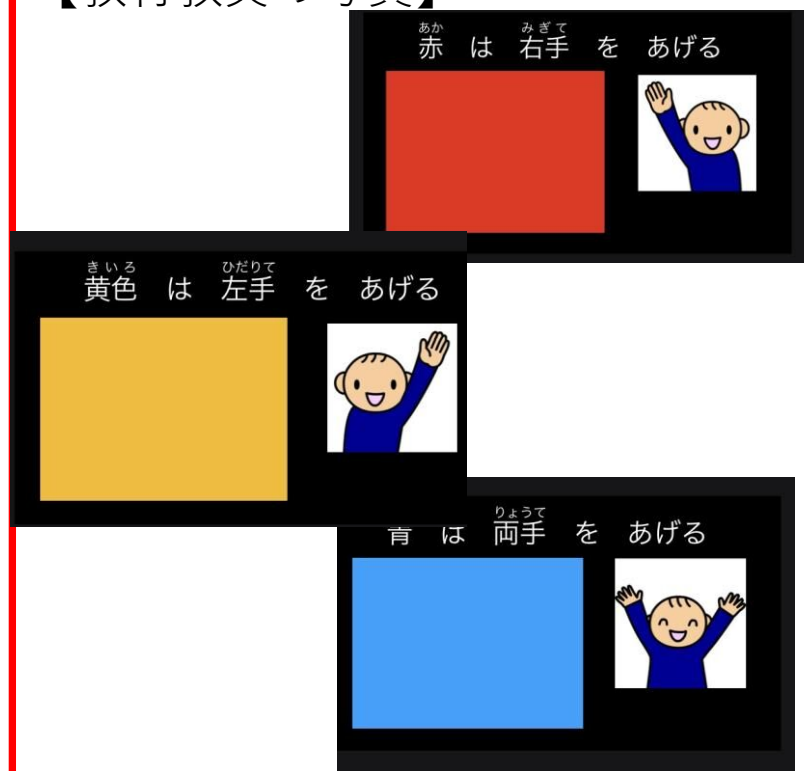
【対象】

- ・ 中学部 1 年生

【材料】

- ・ Key noteのスライド（色、文字を扱った）

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 参考にした教材本の動きは難しかったので、子ども達がやりやすい動きを選んで作成した。

【成果と課題】

- ゲーム感覚で楽しく活動する姿があり、ゲーム要素があるので集中して取り組むことができた。
- 教師がその場で言うのではなく、iPadの音を合わせて入られると、より集中して出来るのではないか。

【教材名】

キラキラビー玉を数えよう

【どんな場面】

- ・ 数学
- ・ 1～10まで数える活動

【対象】

- ・ 高等部 知的
- ・ 1～4までの数は数えられる生徒

【材料】

- ・ ビー玉
- ・ スーパーボール
- ・ 透明なトレイ・水
- ・ マジック・紙

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ トレイに水をはることで、触覚・視覚的にも楽しめるようにした。
- ・ 生徒のそのときの興味に応じてイラストを描き、教師とやり取りをしながら数を数えられるようにした。

【成果と課題】

- 繰り返し行うことができ、1～10まで対象物を押さえながら数えることができるようになってきた。
- 一定の単位（10）で枠の中に入れていくことが、作業学習等に役立てることができた。
- 暑い時期限定

【教材名】

くだもののれっしゃ

【どんな場面】

- ・ 国語
- ・ 導入のことばあそびに使用（くだものの名前）

【対象】

- ・ 小学部 重複

【材料】

- ・ A4紙
- ・ ラミネートフィルム
- ・ 磁石シート

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ ホワイトボードに貼れるように磁石を付けた。
- ・ 歌に合わせてくだものが貼れるように一つずつ磁石が付いている。

【成果と課題】

- 秋の果物が登場するため、名前を覚えたり、季節を感じたりすることができた。
- 磁石が付いているため、児童に貼ってもらうことができた。
- 小さいサイズなため、大人数の活動では見にくさがある。

【教材名】
やおやさん

【どんな場面】

- ・ 国語
- ・ 導入のことばあそびに使用（身近なものの名前）

【対象】

- ・ 小学部 重複

【材料】

- ・ スケッチブック
- ・ 画用紙
- ・ のり
- ・ ネームペン

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 歌に合わせて一つずつ見せられるようにスケッチブックシアターにした。
- ・ 対象児童の身近にある食べ物や、使うものを対象にした。

【成果と課題】

- スケッチブックの大きさであるため、持ち運びしやすい。
- 歌に合わせて一枚ずつ紙をめくれるようになっているため、児童が注目してきている姿があった。
- 少人数で行うときは良いと思うが、大人数で行うときはサイズが小さいと感じる。

【教材名】

しゃぼんだまとぼそ！

【どんな場面】

- ・ 音楽
- ・ 鑑賞

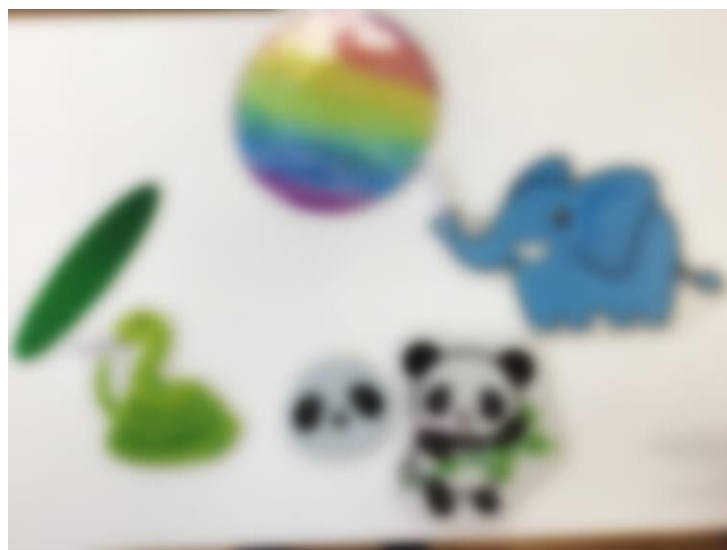
【対象】

- ・ 小学部 知的（低学年）

【材料】

- ・ A4紙 ・ マジックテープ
- ・ パネルシアター用の紙
- ・ ラミネートフィルム
- ・ ストロー ・ 絵具

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 動物にストローをつけ、シャボン玉を飛ばす姿を連想しやすくした。
- ・ 最後の虹を出す場面では、パネルシアター用の紙を使って大きく分かりやすく作った。

【成果と課題】

○動物に合わせていろいろな種類の風船が出てくるのを、注目して見ていたり、風船の形に反応したりする姿があった。

- 黄緑と水色のような似た色を使うと分かりにくい。
- 動物ごとの大きさの違いがあやふやになっている。

【教材名】
パズル

【どんな場面】

- ・ 数学 図形
- ・ 自立活動 目と手の協応動作 マッチング

【対象】

- ・ 中学部
- ・ 目と手の協応が難しい生徒

【材料】

- ・ ブロック
- ・ 木材

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ パズルに色を付け色、形を見ながらパズルができるようにした。
- ・ 見本を見ながらパズルをやるのが難しい生徒は、枠の中に見本を入れ、見本の上にブロックを置けるようにした。
- ・ 実態によって難易度を変えることができる。

【成果と課題】

- ブロックの色や形、向きを見て、パズルができるようになってきた。
- 四角や三角を組み合わせることで、様々な形ができることを今後理解してほしい。

【教材名】
カラーマッチング

- 【どんな場面】**
- ・ 自立活動
 - ・ 目と手の協応動作

- 【対象】**
- ・ 中学部
 - ・ 目と手の協応が難しい生徒

- 【材料】**
- ・ 紙皿
 - ・ 洗濯ばさみ

【教材教具の写真】



- 【教材の工夫】**
- ・ 手元に集中できるように、持てできるものにした。

- 【成果と課題】**
- 紙皿の色と洗濯ばさみの色をしっかりと見ながらはさめるようになってきた。
 - 教師の指示をしっかりと聞き、指定された色の洗濯ばさみ、個数をはさめるようになってきた。

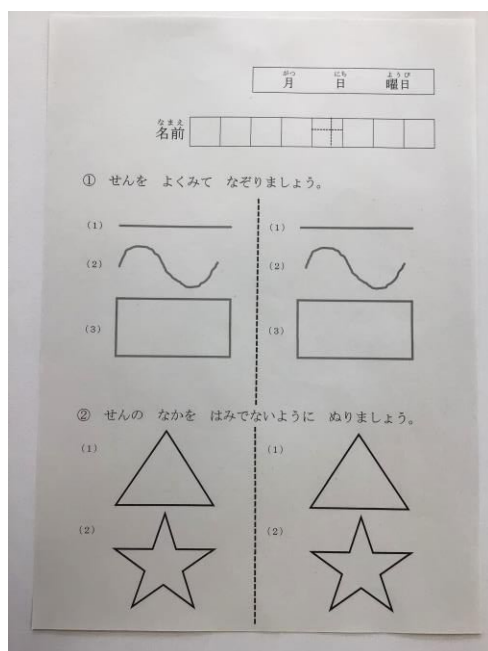
【教材名】
なぞり書き

- 【どんな場面】**
- ・ 自立活動
 - ・ 目と手の協応

- 【対象】**
- ・ 中学部
 - ・ 目と手の協応が難しい生徒

- 【材料】**
- ・ プリント

【教材教具の写真】



- 【教材の工夫】**
- ・ 自立活動『身体』の前後で取り組めるようにした。
 - ・ 自分自身で変化に気付けるように1枚のプリントでまとめた。

- 【成果と課題】**
- ・ 姿勢を正すことでなぞり書きや色塗り（目と手の協応動作課題）が上手になることを本人に分かってほしいと思い作成した。
- プリントの左側は普段の姿勢で行ってもらい、右側は正しい姿勢で行ってもらった。正しい姿勢で課題に取り組んだ方が上手にできることに本人が気付けた。

【教材名】
ひらがなマッチング

【どんな場面】

- ・ 国語
- ・ ひらがなのマッチング

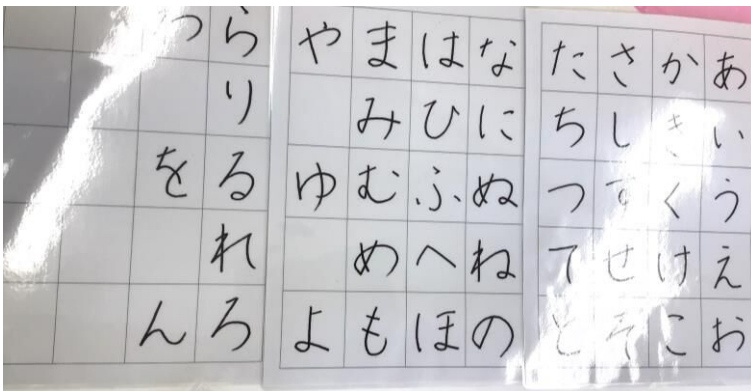
【対象】

- ・ 小学部
- ・ ひらがなを覚えたい児童生徒

【材料】

- ・ 紙
- ・ ラミネート

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 机上に置くことができる大きさに作成した。

【成果と課題】

- 活動を繰り返す中でマッチング成功率が上がった。
- カードが好きな児童は意欲的に取り組むことができた。
- ラミネートの状態のため、つかみにくい。

【教材名】
ストロー筆

【どんな場面】

- ・ 図工 ・ 生単
- ・ 平面に花火や円形のものを描く活動

【対象】

- ・ 小学部 ・ 中学部
- ・ ものを持って押すことができる
児童生徒

【材料】

- ・ 肉厚のストロー
- ・ 絵の具
- ・ 画用紙

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ ストローの先を細かく切り開くことで、花火や花びらなど、円形のことを簡単に描くことができる。
- ・ 何本かのストローを準備することで、色を重ねることができる。
- ・ 絵の具を付けて紙の上に押すだけなので、操作が簡単。

【成果と課題】

- 簡単な操作できれいに花火を描くことができた。
- 色を重ねることで、カラフルになり楽しい作品になった。
- 様々な大きさのストローを準備すると、遠近感が出て、さらに奥行きのある作品になると思う。

【教材名】
記号探し

【どんな場面】
・ 国語、自立活動

【対象】
・ 中学部

【材料】
・ Excel

【教材教具の写真】



【教材の工夫】
・ 何度でも使えて、毎回違う内容にできるように、1つ1つExcelのプルダウン設定をした。
・ 教科書の文字幅に合わせた。

【成果と課題】

- 繰り返し取り組むことができる。
- 注視する部分が分かりやすい。
- 本人が操作できるよう、より分かりやすくする必要がある。